

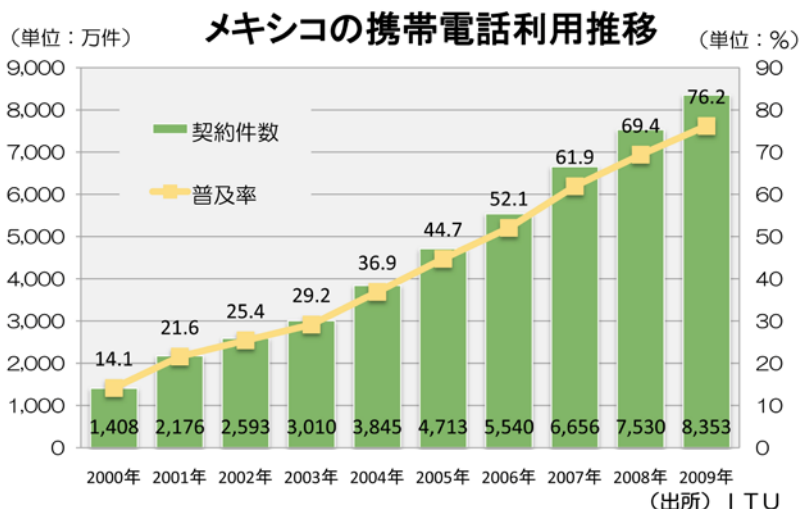
先進国化で高まるメキシコの存在感

近年、メキシコ人のライフスタイルが変化してきました。

ひとつが食文化です。スペイン文化の影響が強いメキシコでは、昼食が1日の食事の中で最も重要視されており、2～3時間程度かけてゆっくりと楽しむのが一般的でした。ところが先進国のように、ランチタイムが短縮されつつあります。「経済成長を追求するのであれば、昼食に2～3時間もかけていたら先進国に勝てない」というのが理由のひとつのようです¹。

もうひとつは通信環境です。2008年の携帯電話の契約件数は7,530万件（普及率69.4%）でしたが、2009年には8,353万件（同76.2%）となりました。同じくインターネットの利用者数は2008年の2,326万人から、2009年には2,844万人にまで拡大しています²。メキシコのインターネットは現在オフィス使用が中心ですが、今後は家庭への普及も期待されており、更なる需要拡大が見込まれています。

こうしたライフスタイルの先進国化は、今後の経済成長にも影響を与えそうです。2010年のメキシコのGDPは、世界第14位（1兆391億米ドル）と言われていますが³、ゴールドマン・サックスでは、2050年には日本を抜き、世界第5位（9兆3,000億米ドル）にまで成長すると予測しています。今後もライフスタイルの先進国化とともに、ますますメキシコの世界経済における重要度が増していくと思われます。



¹ 出所：新興国リサーチ・調査会社「SDI」コラム

² 出所：ITU

³ 出所：IMF予測

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社において入手した信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。＜審査番号:51453.OTHER.MED.OTU＞

© 2011 Goldman Sachs. All rights reserved.